

## 5.防災・減災対策

専門家による防災講演会や住民のワークショップへの参加により、地域での防災・減災への取組みとして、発災前・発災時等と、自助(自分・家族での取組み)・共助(地域での連携の取組み)の取組みをワークショップにより、住民主体で検討し、発災前と発災後に、さらに自助と共助と公助・共助に区分して整理した。(文中、●はワークショップ時に、重要と考えられた項目。)

### (1) 風水害対策

#### 1) 風水害対策 (自助)(発災前)

	発災前対策	対策の内容
自 助	①避難・避難路対策	避難先の決定 避難場所を決める ●避難先への経路確認 避難先を家族で話し合い確認 ●避難場所の確認
	②連絡・情報対策	●情報収集 連絡方法を決める 情報収集用ラジオ
	③防災用品・備蓄対策	身の回りの点検 食糧の備蓄 ●3日分の水・食料品の備蓄 ●懐中電灯・ラジオ・電池 ●1週間分の食料 電池ラジオ 長靴・グッズ 毛布・タオル・防寒具 長靴・雨具 紙皿・紙コップ・サランラップ カップラーメン・鍋 ●非常持ち出し品置き場確認 ガスコンロの用意 公営住宅の1室を保管庫に用意 小学校の1室を食糧保存室に (空き教室の利用) 非常持ち出し品の常備 ロープ・土のう・笛
	④その他	周辺の点検・予知

2) 風水害対策 (共助)(発災前)

	発災前対策	対策の内容
共     助	①避難対策	避難先を決めておく 高い建物の把握・協力要請 ●隣と声掛け避難 ●4階以上の人に避難協力要請 ●町会で避難場所をお願いする 高い建物の確認 近くの高い建物に連れて避難
	②連絡・情報対策	声掛け避難の連絡方法を日頃確認 近所の住民の在宅を知っておく
	③災害時要援護者対策	要支援者情報把握 要支援者名簿作成 ●援助者の決定 ●誰が支援するのかの決定 弱者を守る 避難困難者の把握 1階の住民は高齢者が多いがエレベータが使えない ●災害弱者情報の共有
	④備蓄・資機材対策	3日分の備蓄 ●町会会員の保存水備蓄 ゴムボート
	⑤防災訓練	●避難訓練
	⑥防災体制	広報活動 地域の見回り 町会での対応策 日頃から排水路の点検・清掃 ●普段からの交流を心がける

3) 風水害対策 (自助)(発災後)

	発災後対策	対策の内容
自 助	①身の安全対策	元気な人は避難所に避難 近くのマンションに避難 寝るところの確保 とりあえず、自分の命は自分で守る
	②避難行動対策	近所で声掛け避難 高層住宅なので自宅待機 速やかに避難 高台(高い建物)へ避難 安全な場所へいち早く避難
	③安否・連絡・情報対策	家族の安全確認 情報を詳しく知っておく
	④その他	段ボール・カセットコンロ

4) 風水害対策 (共助)(発災後)

	発災後対策	対策の内容
共	①避難誘導・支援対策	避難誘導(高い建物) 高層建物に避難させてもらう 自宅を把握して、避難目標確認 学校・幼稚園の休日の時、子供の確認 隣近所に声掛け避難
	②災害時要援護者対策	要介護者、高齢者の確認 一人暮らし世帯の安全確認
助	③連絡・情報対策	被害情報の収集 情報交換 高層住宅で、低層階住民に声掛け
	④安否確認対策	けが人の確認
	⑤防災体制	対策本部 組織の中で実施
	⑧その他	炊き出し・湯沸し 食事は暖かいものを

(2) 地震対策

1) 地震対策 (自助) (発災前)

	発災前対策	対策の内容
自 助	①避難・避難路対策	●避難場所の確認 避難ルート確認 近くの丈夫な建物の確認 避難先を決める 避難場所の約束
	②連絡・情報対策	緊急連絡網の作成 家族での連絡方法を話し合う ●家族で避難場所の打合せ
	③防災用品・備蓄対策	避難持ち出し品の常備 ●貴重品の整理 ●水・食糧備蓄 ●枕元にタオルとスリッパ・頭部保護 寝室に防災グッズ ●日持ちのする食料を用意する ●工具・バール大 電池・カセットコンロ 簡易トイレ・ゴミ袋 薬品・笛・電池・ホカロン 風呂の残り湯の確保(雑用水) 一人一個の電気を用意 スリッパ・手袋・懐中電灯 タオル・靴 非常持ち出し品を常備 ヘルメット・懐中電灯
	④耐震・転倒防止対策	●家具の転倒防止 家具の転倒防止 家屋の耐震補強 家の中で揺れに安全な場所確認
	⑤その他	津波カプセル ベランダなどに物を置かない

2) 地震対策 (共助) (発災前)

	発災前対策	対策の内容
共 助	①避難対策	自宅からの避難マップの作成 近隣の公共施設ビルと協定 避難マップを作る 避難場所の確認
	②連絡・情報対策	避難先の確認 近所の家族構成を知っておく
	③災害時要援護者対策	要援護者のリスト作成 老人施設・保育所等と仲良く ●高齢者名簿の見直し ●一人暮らし者の把握 独居老人の把握・連絡方法
	④備蓄・資機材対策	●防災倉庫の確認 救助道具 救助ボートの確保 地域防災用品の備蓄 3日分の備蓄 ウェットティッシュ・日用品 救助用具を準備しておく
	⑤防災訓練	●防災意識の強化 避難訓練 食糧・水・常備薬 避難訓練(1次避難・2次避難) 地震発生時の対応方法啓発教育 避難訓練 救急蘇生法の訓練実施 合言葉を作る
	⑥防災体制	災害時の確認分担を決める 医院と仲良く 日頃より近隣の声掛け 近所の人とコミュニケーションをとる ●普段から近隣のつながりを 近所の人たちのことを考える 昼間時の男性の存在把握

3) 地震対策 (自助) (発災後)

	発災後対策	対策の内容
自    助	①身の安全対策	出口確保 地震に耐えられる場所に身を置く
	②避難行動対策	避難場所への援助 貴重品の持ち出し
	③安否・連絡・情報対策	安否確認 ●家族と連絡を取る 災害伝言ダイヤルを利用する ●メモ（親戚の連絡先）持っておく
	④防火・消火対策	●ブレーカーを切る ●火の元確認・消火 ガス栓を閉める 電気の電源を切る
	⑤その他	サランラップ（食器用に） 余震に注意

4) 地震対策 (共助) (発災後)

	発災後対策	対策の内容
共 助	①避難誘導・支援対策	避難所へ誘導 隣近所に声掛け避難 みんなで避難
	②災害時要援護者対策	高齢者の避難支援 要援護者の声掛け・助け合い 介護者の確認 避難行動要支援者を支援
	③連絡・情報対策	●高齢者・近隣に声掛け ●近所に声掛け
	④安否確認対策	●安否確認 隣近所の見守り 玄関に避難済を張り紙する 近隣の安否確認 子供・高齢者の安否確認 ●安否確認をして玄関に貼る 単身家庭の確認 けが人の情報収集
	⑤救援・支援対策	けが人等の救出・救助 救助・支援 倒壊家屋からの救助 けが人の応急手当
	⑥物資・資機材対策	食糧の調達 ●トイレの用意・確保 地域防災用品の活用・救助 炊き出し 食糧の分配
	⑦防災体制	●対策本部の設置 地域緊急体制の立ち上げ・実施 共助できる人の確認・役割分担
	⑧その他	がれきの撤去 ●火災に注意 衛生管理 人間いざとなれば知らない人でも助けられる